



第5回定例総会を開催

建議・要望等を審議

建議要望活動は農業委員会の重要な活動のひとつであり、現場の声などを行政に反映してもらうための取り組みです。

鶴岡市農業委員会第5回定例総会が10月26日、出羽庄内国際村ホールを会場に開催されました。

今回の総会では、農業委員会法改正に伴う委員定数等の改正要望のほか、5件の建議・要望が議事として上程されました。

発議者の主旨説明に続き、慎重審議を行った結果、全て原案通り可決されました。今総会に提案されました議案は次のとおりです。

- 鶴岡市農業委員会委員定数等の改正について
- 平成29年度鶴岡市農業振興施策予算に関する建議書（鶴岡市長あて）
- 2018年産米からの生産調整見直しにかかる要望書（農林水産大臣あて）
- 経営体育成支援事業に関する要望書（農林水産大臣あて）
- 鶴岡産そばの地産地消に関する要望書（鶴岡市長あて）



■ 農業を軸とした異業種の女性のマンパワーづくりに関する要望書（鶴岡市長あて）

なお、総会終了後は全員協議会が行われ、研修として市農林水産部長を講師に、「今後の土地改良事業の方向性」と「食文化創造都市としての今後の取り組み方針」について受講しました。

○決議された建議・要望書は農業委員会のホームページでご覧いただけます。



榎本市長へ建議・要望書を提出

総会において決議された建議・要望書は、11月1日に会長以下5役と女性農業委員4名で榎本政規鶴岡市長を訪問し、要望主旨等の説明を行いながら提出しました。

榎本市長からは、「このたびの要望については重要な事項であると認識してい



る。これから予算編成の時期に入るので、農業委員会の考えを尊重しながら、しっかりとやっていきたい。」とのお話がありました。

農業委員会では、今後も現場の声を市及び国・県等の関係機関に伝え、農業者の皆さんが今後も意欲と希望を持って取り組めるよう活動していきます。

